

# 農大だより 第15号

令和2年11月11日

発行：専門学校山梨県立農業大学校同窓会 北杜市長坂町長坂上条3251 TEL 0551-32-2269

## 同窓会活動の強化を

同窓会長 鈴木幹夫

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍のことと拝察いたします。

令和という新たな時代を迎え、本県農業の発展にも追い風が吹くものと、大いに期待をしていたところですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に加え、長梅雨やその後の猛暑など、異常気象に悩まされる日々となってしまいました。

山梨県の新規就農者数（自営就農十雇用就農）は、平成二十八年度より連続して三百人を超えるとともに、ここ十年は新規就農者の増加傾向が続いているとのことであります。

農業大学校は、平成二十年度の専門学校への再編以降、入学希望者が定員を上回る状況にあり、本県農業の重要な担い手養成機関として、年々その役割が高まってきております。

母校の学舎で希望を抱きながら農業を志す、意欲にあふれる多くの若者の姿を目にすることができるとは、OBの一人として大変心強く思うところであります。

母校は昭和四十六年に農業

大学校として開校し、今年、創立五十周年を迎えました。記念の式典については、残念ながら、延期せざるを得ない状況ですが、来年度には盛大に開催出来ることを祈念するところであります。

また、令和4年度には林業の担い手を育成する学科が設置されるとのことであり、同窓会としても農業大学校のさらなる発展に向けて様々な面からバックアップして参りたいと考えております。会員の皆様には、ご理解を頂く中でより一層のお力添えをお願い申し上げます。

## 魅力ある農業大学校に向けて

校長 中込 正人

同窓会の皆様には、日頃より農業大学校の運営につきましても多大なご理解とご協力をいただきありがとうございます。深く感謝申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、入学式を実施できず、一ヶ月間の休校の後、五月の連休明けから実習を中心に授業を開始いたしました。感染防止対策のため、授業時間の短縮や広い教室の利用、オンライン授業の実施を行って参りました。職業訓練農業科では年間授業日程を約一ヶ月先送りするなか

で実習や講義を実施しております。七月から授業時間を通常に戻しましたが、長梅雨やその後の猛暑で熱中症等が心配されるなか、学生、訓練生ともに、元気に農業の厳しさや楽しさなどを、様々な経験を積みながら、着実に自信を深めてきている様子が伺えます。

近年は果樹を希望する学生が多く、今年度は養成科新入生三十名のうち十九名が果樹学科生となっております。また、ワインメーカーの栽培部門へ就職する学生も増えるなど、学生の状況も時代に合わせて変化しております。

職業訓練農業科でも、ここ数年、シャインマスカット人気に合わせ果樹コースの応募が多くなっております。

農業の担い手確保に向け、本年度、総勢百十八名に及ぶ学生・訓練生を受け入れ、将来の本県農業・農村を支える人材の育成に携わることができるとは、誠に喜ばしい限りであり、本校の運営に対する同窓会の皆様からのご支援に改めて感謝を申し上げます。

本校は今年、農業大学校として創立五十周年を迎えました。本来であれば年度内に記念式典を開催する予定でありましたが、コロナ禍の状況を踏まえ、一年延期することとし、鈴木会長にもご承諾をいただいたところであります。

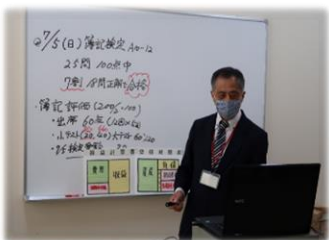
また、令和四年度からの林業に関する学科の新設に向けて取り組んでいるところであり、同窓会の皆様におかれまして、更なる農業大学校の充実強化に向けて、今後も引き続き様々な面でのご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 新型コロナウイルス

### 感染症禍での授業状況

本年度は新型コロナウイルス感染症禍の影響で入学式を行うことができず、五月十一日まで休講措置により学生は登校出来ない状況でした。

また、学校再開以降の授業については、実習のみ再開し、座学は、五月下旬からオンラインと対面での授業を並行して実施しました。座学は、通常よりも広い部屋を利用し、学生間のソーシャルディスタンスを確保した上で実施しています。校外研修については、派遣先（農家、法人、企業等）のご理解のもと、実施できましたが、販売実習はなかなか実施することができず、ようやく十月下旬より、校内で小規模に実施する予定となりました。一大イベントである収穫祭は父兄に向けた学校参観日として販売実習を行う予定といたしました。球技大会、先進地派遣研修（養成科2年、修学旅行）などは中止となるなど、これまでとは違う学校生活を送っている学生に対する心のケアなどにも気をつけている必要があると職員一同感じています。



オンライン授業の様子



講堂での授業  
(ソーシャルディスタンス)

## 令和2年度入学生状況

養成科の入学生は三十名で、出身高校別では農業系高校の出身者が十七名を占めました。女子学生は九名でした。

専攻科は四名が入学しましたが、二名が養成科の卒業生となっております。近年、非農家出身者が増加傾向にあります。専攻科は、入学生の皆さんが、本校において専門的な知識や技術を身につけ、JAや農業法人や関連企業に就職し、山梨の農業・農村の発展のために幅広い分野で活躍していただけるよう期待しています。

## 令和2年度

### 職業訓練農業科入校の状況

職業訓練農業科の研修は、県立就業支援センターの求職者を対象とした職業訓練で、農業大学校が受託し実施しています。研修期間は九ヶ月で果樹、野菜、有機農業コースがあり、今年度は五十三名が入校しました。講義やほ場実習、先進農家での実習など、農業部門への就業に向けた実践的な訓練に取り組んでいます。



訓練生の実習風景



子ヤギの誕生



## 令和3年度 専門学校山梨県立農業大学校 学生募集

募集人員 (1) 養成科 学科：果樹学科 20名 園芸学科（野菜・花き専攻）10名  
(2) 専攻科 学科：落葉果樹学科 若干名

### 願書受付及び試験日程

#### (1) 養成科

区分	願書受付期間	試験期日	試験内容
推薦入学	令和2年9月10日～9月23日(終了)	令和2年10月 7日	小論文、面接
一般入学	前期 令和2年11月 5日～11月18日 後期 令和3年 1月14日～1月27日	令和2年12月 3日 令和3年 2月 9日	小論文、面接、科目試験 (①国語総合／古文、漢文は除く②数学 I の2科目)

#### (2) 専攻科

区分	願書受付期間	試験期日	試験内容
推薦入学	令和元年9月10日～9月23日(終了)	令和2年10月 7日	小論文、面接
一般入学	前期 令和 2年11月 5日～11月18日 後期 令和 2年 1月14日～1月27日	令和2年12月 3日 令和3年 2月 9日	小論文、面接、科目試験 (農業基礎 ※農学系以外の大学・短大卒業者のみ)